

汽水・淡水産魚類

種名	ヒナインドジョウ (<i>Cobitis shikokuensis</i>)
指定をする理由	四国の固有種であり、県の西部及び愛媛県にのみ生息する。そのため、四国及びその周辺地域の地史及び淡水魚類相を解明する上で極めて貴重な存在である。また、当該種は、冷水性で、かつ、清流性が強く、泥に覆われない浮き石状の礫(れき)床に潜入し、生息するため、近年、開発行為等による環境の悪化により、一部の水域では、生息が認められなくなっている。更に、その美しい斑紋から観賞魚としての人気が高く、商業目的の乱獲のおそれがある。
形態	通常6cm未満の小型魚で、体側中軸と背縁に大形の暗褐色斑が縦列し、その間に同色の小斑点が密布する。
生息分布状況	一般には山地溪流から平地流への移行部にかけて多く生息するが、下流域でも伏流水が豊富に湧出する瀬などには生息する。水底での活動期は4月下旬～10月上旬で、水生昆虫などの底生動物を食べる。水温13～15℃を境に潜行し、翌春まで河床中で越冬する。産卵生態と初期生活史は不明。
種の存続を脅かす要因	流域における開発等による環境（水質と底質）の悪化。体側の斑紋の美しさと希少性による観賞魚としての乱獲。
保護に関する指針	本種の捕獲等については、県内全域において知事の許可を受けた場合以外は、当該種の捕獲等を禁止するものとする。
高知県レッドデータブック掲載状況	CR+EN(絶滅危惧Ⅰ類)
高知県希少野生動植物保護基本方針該当項目	<ul style="list-style-type: none"> ・種の存続に支障をきたす程度の個体数の減少 ・商品価値や希少性の高さから個体維持に支障を来す採取対象種



写真:高橋「高知県レッドデータブック(動物編)2002」より